

新技術・新工法及びリサイクル製品審査表

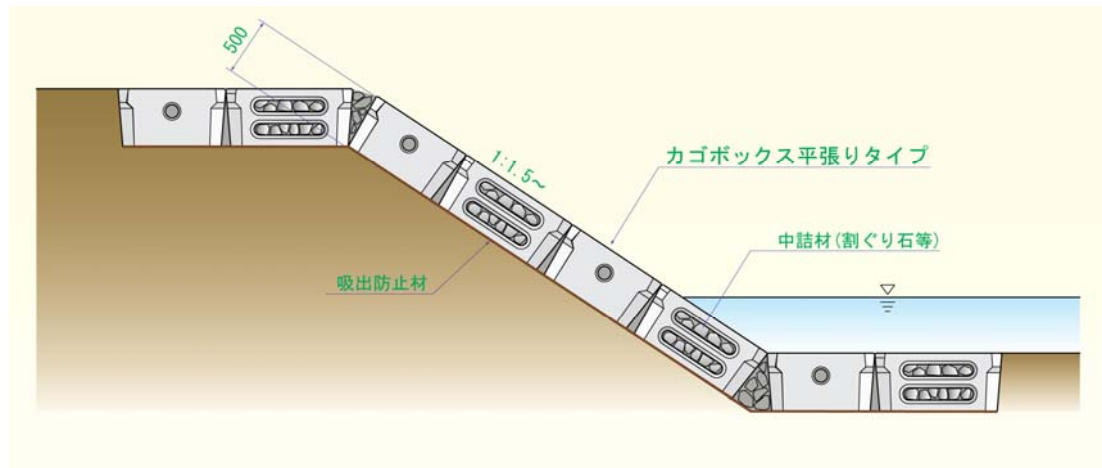
受 付 N o	MA220930-38	申請年月日	平成22年9月30日
新技術名称	カゴボックス(平張タイプ)		
開発業者名	会 社 名	ランデス株式会社 山陰営業所 (製造先: 阪神工業株式会社 上段工場)	
	担当部署		担当者 山上 淳史
	住 所	鳥取県倉吉市清谷町2丁目20番地	
	T E L	0858-48-1820	F A X 0858-48-1821
	E-mail	sanin-ei@landes.co.jp	

概 要

プレキャスト製のカゴボックス(平張タイプ)に割栗石等を充填し、護岸、護床を構築する製品。
比較的流速のある緩傾斜護岸の工法については、従来、カゴマット(スロープ式)等に対応していたが、鉄線製であるカゴマットと比べ据付作業が比較的容易に行えるため、工期の短縮を図ることができる。

また、従来品同様、中詰材は自然石(割栗石)を使用するため、水中部では水棲生物の棲息環境の保全や土砂の堆積による水際緑化も期待できる。当工法は、法勾配1:1.5より緩い護岸に適用。

【標準断面図】



【施工方法】

吸出防止材設置

法面整生後吸出防止材を法長方向に沿わせて設置します。
吸出防止材は、10cm程度の重ねしろをとって下さい。

1

製品据付け

専用の吊り金具を使用し、標準型を2mに1個の割合で据付けます。
また端部には、役物を設置します。

製品は干渉密に設置して下さい。

2

製品の連結

標準型同士の連結は、ボルトによって行います。
役物と標準型の連結は、L字プレートのボルト締めによって行います。

L字プレート

3

中詰材の投入

製品に衝撃を与えないように中詰材を投入し、均します。

4

【現地確認写真(八頭町下門尾地内、私都川)】



機能性の向上

- 鉄線製であるカゴマットと比べ、重機による作業が主体であり据付作業が比較的容易なため、施工効率が向上し、工期短縮が図られる。
- コンクリート製のため耐久性が高く、腐食や磨耗などの経年変化による破壊が生じにくい。

在来工法・製品と比較した経済性

- 在来製品と比べて、主に重機による作業となるため、施工効率が向上しコスト縮減が図られる。

	【今回申請】 カゴボックス (平張タイプ)	【在来製品】 カゴマット	コスト比較
直接工事費 (1m2当たり)	9,620円	10,580円	9.1%縮減

注)割付延長や法長によって、役物の使用量が変動するため、m2当りの施工費が若干異なる。(上記は延長20m、法長10mの場合)

資源のリサイクル性

- コンクリートの細骨材にフェロニッケルスラグ及び廃ガラスを使用しており、リサイクル性の向上が図られる。

公共工事における汎用性

- 鳥取県内において、公共事業で5件の施工実績がある。
- 標準施工歩掛はないため、メーカー歩掛を使用することになる。

他機関での登録

- ONETIS登録(CG-000006-A)

特許・実用新案

- なし

事前審査結果(新技術・新工法及びリサイクル製品審査基準)

- ①ニーズとの適用性「B」、②技術の妥当性「A」、③実地条件下での適応性「A」
- ④活用効果の発現性「B」、⑤公共事業における汎用性「B」

事務局現地確認等

- ・平成23年2月17日 八頭町下門尾地内の施工事例を確認(技術企画課、県建設技術センター)